

## はじめに

福井県衛生環境研究センターは、本県の保健行政や環境行政を科学的・技術的に支える中核機関として、衛生・環境に係る「調査研究」、「試験・検査・測定」、「研修・指導・学習」および「情報の収集・解析・提供」の4つの役割を軸に業務に取り組んでいます。

特に、令和2年以降の新型コロナウイルス感染拡大に対しては、次世代シーケンサーによる全ゲノム解析に軸足を移しつつ、引き続き感染判定リアルタイムPCR検査の行政依頼にも応え続けるなど、センター一丸となって対応して参りました。

このような中でも、調査研究については、外部評価委員による研究課題評価の結果や意見を踏まえ、県民や行政ニーズに即したテーマの創出に努めており、令和3年度には新たに「微生物を用いた試験による湖沼環境の影響評価に関する研究」等に着手しました。

今後とも、県民の健康と生活環境を守るための試験研究機関および健康危機管理対応機関として、保健所等関係機関とも緊密な連携を図り、県民および行政の新たなニーズに的確に答えていく所存です。

ここに、令和3年度に実施した試験・検査業務の実績および調査研究の成果等を、「福井県衛生環境研究センター年報（第20巻）」としてとりまとめました。「Ⅱ 業務報告」では、部・室ごとの業務実績を、「Ⅲ 調査研究」および「Ⅳ 発表抄録」では、これまでに実施した調査研究の結果および学会等での発表の抄録を掲載しています。

こうした成果については、ホームページや広報誌などを通じて広く情報発信するとともに、衛生・環境教室等を積極的に開催し、当センターの業務に対する認識と理解を深めていただけるように努めて参りますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年1月

福井県衛生環境研究センター所長 村田 健